

Ⅱ 令和4年度当初予算案の概要

「清流の国ぎふ」づくり

～ウィズ・コロナからアフター・コロナへ～

1 基本的な考え方

県民とともに着実に進めてきた「清流の国ぎふ」づくりは、「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」の中心課題であり、今後も丁寧に歩みを進めていかなければならない。

しかし、新型コロナウイルス感染症はいまだ猛威を振るっており、この未曾有の「国家的危機事案」との闘いは、3年目に突入した。この間、①「『オール岐阜』での対策推進」、②「専門知の尊重・積極的活用」、③「スピードと決断」の基本姿勢のもと、県の総力を挙げて取り組んできたところである。

(1) このため、令和4年度予算においては、**ウィズ・コロナ**対策に引き続き全力を尽くすとともに、**アフター・コロナ**に向けて前進する。

(ウィズ・コロナ ～生命と暮らしを守る～)

- ・感染拡大を防止するため、円滑なワクチンの追加接種に向け、市町村、関係機関と緊密に連携するとともに、飲食店、社会福祉施設、学校など、クラスターが生じやすい施設等における感染拡大防止対策をさらに徹底していく。
- ・十分な検査体制、診療、病床・宿泊療養施設・後方支援病床・臨時医療施設を確保する。
- ・コロナ禍により孤独・孤立を深める生活困窮者や子ども、女性などへの支援や相談体制を充実するとともに、コロナの影響を大きく受けた中小・小規模事業者、離職者に対しては、金融支援や事業継続を支援するほか、再就職の促進、雇用維持に向けた人材マッチングなどを推進する。

(アフター・コロナ ～未来を創る～)

- ・岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づき、「誰一人取り残されないデジタル社会」の実現に向けて、デジタル格差の是正を図るとともに、県・市町村行政、商工業、農林業、文化芸術、教育など社会経済のあらゆる分野におけるデジタル化を力強く推進する。
- ・持続可能な社会の推進として、SDGsの達成や2050年の「脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、再生可能エネルギーの導入やプラスチック資源循環を促進する。
- ・新次元の地方分散に向け、ワーケーション、サテライトオフィス、データセンター等の誘致、移住定住の促進に取り組むほか、新たな産業の創出のため「ぎふ宇宙プロジェクト」による宇宙産業の育成を図るとともに、小規模事業者の業態転換、地場産業や農畜水産物の販路拡大、有機農業の取組み等を進めていく。

(2) 一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人口減少や少子高齢化を巡る状況はさらに厳しくなっている。

このため、従来より県政の基軸としている「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」の3本柱に沿って、**未来を見据えた「清流の国ぎふ」づくり**に向け、引き続き力強く歩んでいく必要がある。

- ・「『清流の国ぎふ』を支える人づくり」として、ぎふ木育に象徴される環境教育の推進、特別支援教育を含む学校教育の充実、DXや起業分野での若手人材の育成など、未来を支える人づくりを進める。また、障がい・性差・年齢・国籍に関わらず、誰もが活躍できる社会を確立する。

- ・「健やかで安らかな地域づくり」として、子どもの教育や保育に係る支援を充実するとともに、様々な環境における妊婦や妊娠を望む方々へのフォローアップを拡充し、子どもを産み育てやすい地域づくりを推進する。また、ソフト、ハード両面から災害と危機事案への対応を強化し、安全な地域づくりを進める。

- ・「地域にあふれる魅力と活力づくり」として、「清流の国ぎふ 地芝居公演」などの文化芸術に関する取組みを、令和6年開催の国民文化祭等に向け、感染防止対策を徹底したうえで実施する。また、美しく恵まれた自然環境を保全・活用する取組みに注力するほか、コロナ禍にあっても、観光振興・国際交流を着実に推進するとともに、未来につながる農畜水産業づくり、未来を支える森林づくりを引き続き進めていく。

(3) 併せて、**持続可能な財政運営**に十分意を用いていく。

県財政は、税収や地方交付税の増額を見込み、所要の一般財源総額は確保される。臨時財政対策債の発行は大幅に減少し、新県庁舎建設の事業費負担もピークを越えた。県債発行の抑制は将来負担の軽減に資するものと捉えている。

一方、コロナ対策による歳出増に加え、社会保障関係経費の増加、社会資本の老朽化への着実な対応が求められるとともに、公債費は当分の間増加が続くなど、県財政を巡る環境は厳しさを増していく。

このため、重要課題にしっかりと財源を振り向けた未来創造・課題解決型の予算としつつ、事業見直しの徹底による歳出削減等により、所要の財政調整基金残高を確保する。

2 予算案の体系

(1) ウィズ・コロナからアフター・コロナへ

① ウィズ・コロナ ～生命と暮らしを守る～

- ・感染拡大防止対策の推進・医療提供体制の確保
- ・孤独・孤立対策の推進
- ・中小企業等への支援・雇用確保

② アフター・コロナ ～未来を創る～

- ・デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進
- ・持続可能な社会づくり（SDGs・脱炭素社会）
- ・新次元の地方分散・新たな産業の創出

(2) 未来を見据えた「清流の国ぎふ」づくり

① 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(i) 未来を支える人

- ・環境教育・ぎふ木育の展開
- ・特別支援教育の充実・学校教育の質の向上
- ・産業の担い手育成・確保
- ・介護・医療を支える人材の育成・確保
- ・起業を志す者や若年人材の育成・支援
- ・ぎふDXを支える人材の育成・確保

(ii) 誰もが活躍できる社会

- ・障がい・性差・年齢に関わらず活躍できる社会
- ・外国籍の方も活躍できる社会

② 健やかで安らかな地域づくり

(i) 健やかで安らかに暮らせる地域

- ・子どもを産み育てやすい地域づくり
- ・医療・介護サービスの充実
- ・全世代の生きがい・健康づくり
- ・貧困からの脱却・虐待防止・犯罪被害者の支援

(ii) 誰もが暮らしやすい安全な地域

- ・災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・生活を支えるインフラの整備
- ・犯罪・交通事故防止の推進

③ 地域にあふれる魅力と活力づくり

(i) 地域の魅力の創造・伝承・発信

- ・「清流の国ぎふ」文化・芸術・ブランドの創造・伝承
- ・「スポーツ立県・ぎふ」の推進
- ・美しく豊かな自然環境の保全・継承

(ii) 次世代を見据えた産業・農林畜水産業の振興

- ・観光振興・国際交流の着実な推進
- ・未来につながる農畜水産業づくり
- ・未来を支える森林づくり